

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾ゆうゆう高木1組		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ゾーニングや視覚支援を活用した構造化環境づくりが徹底されており、静かに過ごす場所と運動する場所を分けるなど、子どもが見通しを持って過ごせる環境が整っています。清掃・消毒も日常的に実施され、保護者からも「清潔で安心できる」と評価されています。	毎朝のミーティングを実施し、その日の支援内容や役割分担を確認するなど、チーム支援体制を整えています。	職員研修後の振り返りやフォローアップを強化し、学びを支援に活かしていきます。
2	個別支援計画の作成・共有・モニタリングが非常に丁寧に行われており、子どもの意見を聞く時間を確保しながらニーズに基づいた計画立案ができています。職員間でのミーティングや日々の共有により、計画に沿った支援が安定して提供されています。	活動プログラムが固定化しないよう、週ごとに内容を変更したり、複数活動を組み合わせるなど工夫しています。保護者からも「様々な体験ができる」と好評です。	家族支援プログラムや保護者参加型行事を増やし、家族支援の充実を図ります。
3	保護者との信頼関係が非常に良好で、「安心して通わせられる」「子どもが楽しみにしている」「大満足」といった声が多く見られます。送迎時やコドモンを通じた丁寧な情報共有が満足度の高さにつながっています。	事故防止・防災対策・BCP・アレルギー対応など安全管理体制が整っており、定期的な訓練や研修を実施しています。	地域交流の機会を計画的に増やし、社会性や経験の幅を広げていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援終了後の振り返りが送迎等の都合で難しい日があり、翌日共有になる場合があります。	送迎時間や業務量の関係で、振り返り時間が確保しづらい日があります。	短時間でも共有できる仕組みづくりを進め、振り返り精度を高めます。
2	職員配置について、保護者から「人員補充が必要」との声が一部あります。	人員確保が常に課題であり、配置に余裕が持てない場合があります。	採用や人員調整を進め、配置の充実を図ります。
3	地域交流や他児との交流機会がまだ十分とは言えません。	地域交流は安全配慮や調整が必要で計画的対応が求められます。	地域行事や交流機会を段階的に増やしていきます。